



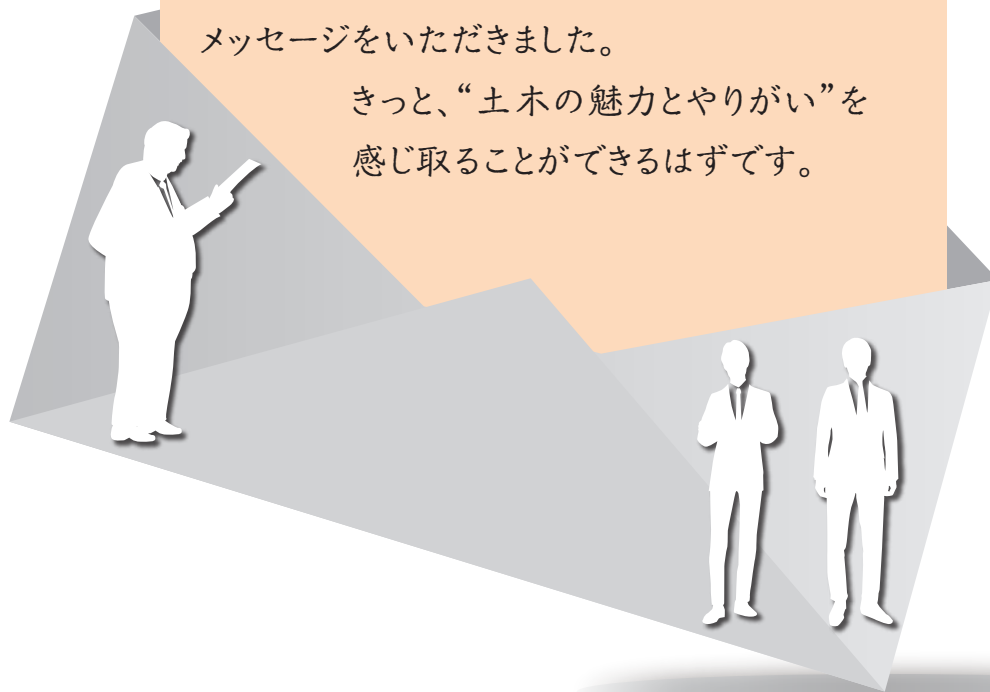
# 新入社員への手紙



新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。

社会人としての新しい人生がスタートし、心配や不安もある反面、希望と期待を胸に新たな一歩を踏み出された皆さんに、さまざまな経験を積んで活躍されている先輩方から、心のこもったメッセージをいただきました。

きっと、“土木の魅力とやりがい”を感じ取ることができるはずです。



- 目前の困難を「経験」に ..... 4  
赤迫 史郎 信幸建設株式会社 東日本支社
- 将来の土木業界を担う皆様へ ..... 5  
忽那 惇 東亜建設工業株式会社 東京支店 東京港工事事務所

## 目前の困難を「経験」に

新入社員の皆様、この度は入社おめでとうございます。新社会人として、今後への期待と不安に胸を膨らませていることと思います。特に昨年から続く新型コロナウイルスの影響により、在宅勤務や時短業務等の対応を余儀なくされる方もいると思います。しかしながら、土木の現場では常に変化が付物です。天候や思わぬ現場条件の変更等、常に新しい課題に対応・順応していかなければなりません。

私自身、入社後すぐに東北に配属となり東日本大震災の翌年にあたる時でした。そこでメディアだけでは伝わってこなかった現実を目の当たりにして、まだまだ復旧・復興が進んでいないことに驚きを隠しきれませんでした。ライフラインの復旧が最優先される中、資機材の入手困難な状況下で施工方法や安全・工程管理を協力会社と共に綿密に打合せし、工夫して無事にやり遂げた時の達成感は今でも鮮明に覚えています。

東北にて4年間勤務したのちに、次は海外工事に配属となり大きく環境が変わりました。

基本的に、コミュニケーションは英語です。私は拙い英語と身振り手振り、下手な絵を描いて何とか相手に意思を伝えること

が出来ました。伝えようとする意志と相手の受取ろうという思いがあれば、多少時間がかかってもコミュニケーションがとれるということを知り、現場においてコミュニケーションは非常に大事なことだと再認識しました。

期待と不安、希望一杯に満ち溢れている皆様には、これから多くの困難や壁に直面することになると思います。その度にしっかりと向き合って自身の「経験」を蓄え糧にし、何事にも対応・順応出来るよう努力を惜しまないで下さい。その努力が希望への一歩となります。また、頑張りすぎず、無理しすぎず、次世代を担う技術者になって下さい。

その一歩を共に歩みましょう。

**信幸建設株式会社**

東日本支社

**赤迫 史郎**



## 将来の土木業界を担う皆様へ

新たに土木業界へ入社された皆さん、おめでとうございます。

学生から社会人となり、熱意や希望と同時に未だ収束しないコロナ禍の中で大きな不安を抱いて入社されたことと思います。このような状況下で、皆さんより少し長く社会人を経験した私から、わずかでもアドバイスができれば、と思います。

私は2010年に入社し、最初の3年間は複数の民間工事（主に護岸築造工事）を担当しました。次の4年間は自社の研究部門と外部研究機関に出向し、コンクリートや鋼構造物の研究とともに社外との人脈形成も経験できました。そして、直近の4年間は2つの官庁工事を担当し、現在は責任者として業務しています。

この間、私が心掛けていたことは以下の2点です。

### 1. 一人で悩まない

工事現場の業務は現場管理以外にも多岐に渡り、様々な知識と経験、対応力が求められます。また、その場で速やかな判断を下すこともあります。そのような背景から経験が重視されがちですが、同じ工事は存在しません。そのため、一人で悩まず皆で課題をクリアにし工事を進めていく必要があります。私も、一人で抱え込まず周りに相談する姿勢を貫いています。ぜひ、皆さんもそのようなスタンスを持ってください。

### 2. コミュニケーションの重視

現場ではそこに従事する職員だけでなく、社内に関連部署、協力会社、発注者等の色々な人と接します。SNSの普及やIT技術が発達しても、根幹には「人」がいます。土木構造物は「人」がいないと作れません。現場では、協力会社の職長さんや職人さんと積極的に会話してください。最初は雑談だけでも構いません。その人脈や関係性が現場を進める上で皆さんの大きな武器となります。

今後の皆さんの社会人生活において、楽しいことや辛いことなど様々な場面があると思います。少しずつ、焦らず、自身の成長を徐々に感じ取りながら、将来は土木業界を担う素晴らしい技術者となってご活躍されることを願っております。

**東亜建設工業株式会社**

東京支店

東京港工事事務所

**忽那 惇**

